

【緑区】令和5年 第2回 区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和5年6月8日 午後3時 ～ 午後4時05分
場 所	緑区役所4階 会議室4AB
出席者	<p>【座 長】鴨志田啓介議員</p> <p>【議員：3名】越久田記子議員、高橋正治 議員、斉藤達也 議員</p> <p>【緑区：23名】佐藤康博 区長、河村義秀 副区長</p> <p>宮嶋真理子 福祉保健センター長</p> <p>安達恒介 福祉保健センター担当部長</p> <p>得能千秋 緑土木事務所長</p> <p>齋藤優子 担当部長（緑図書館長） ほかに関係職員</p>
議 題	<p>1 令和5年度 緑区運営方針</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた（令和5年度一般会計当初予算）</p> <p>3 令和5年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p>
発 言 の 要 旨	<p>議題1 令和5年度 緑区運営方針 （区長説明）</p> <p>斉藤議員：国際園芸博覧会について、市内では会場となる旭区及び瀬谷区がクローズアップされているが、緑区も十日市場駅が交通の起点となる。緑区民に対してどのような機運醸成を図っていくのか。</p> <p>佐藤区長：全市をあげた機運醸成を強く意識しており、どのような取組ができるか議論を始めたところです。主要な場所でのプロモーション、イベントなど機を見計らって、区民の皆さまにしっかり伝えていきたいと思っています。区連会で園芸博について話をしたところ、連長の皆さまも気にかけていただいております。緑の名を冠している区として、具体的にどのように魅力を出していくのか、これからプロモーションに取り組んでまいります。</p> <p>斉藤議員：“国際”園芸博覧会なので、緑区として海外の方々へアピールできる貴重な機会となる。今回の園芸博の4つの柱の1つに「農」が入っているが、まさに緑区は農業が盛んな区である。博覧会協会に対しても、緑区として取組の提案をしていくなど積極的・主体的に関わっていただきたい。</p> <p>議題2 緑区に係る予算のすがた（令和5年度一般会計当初予算） （区長説明）</p>

議題3 令和5年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

(区長、副区長説明)

【1 災害に強いまちづくり事業】

齊藤議員：平成26年の土砂災害で、白山地区でお亡くなりになった痛ましい事故もあったが、風水害対策について区としてどう考えるか。

佐藤区長：先週末の台風では、区内で木竹が倒壊してフェンスが壊れたり、土砂が崩れた場所もありました。最近は開発造成に関する技術も上がっており、近年造成された箇所は安定性・安全性がそれなりに保たれているようですが、例えば石積み擁壁の上にコンクリートの壁を載せているような箇所も多く見受けられます。区として、足を使ったきめ細やかな対応や、場合によって建築局に要請したり、自治会長を通じて注意喚起を丁寧に続けます。また、夏に向けて、区としてできる限りの体制を整え、土木事務所や消防など関係機関と連携しながら、しっかり取り組んでいきたいと思えます。

【3 交通安全対策事業】

齊藤議員：横断歩道が薄くなっていて危ない箇所があり、緑区役所前もようやく対応してもらえた。薄くなっている横断歩道が区内でも多くあるため、市民局から県警に言ってもらうためにも、区からも市民局に強く伝えてもらうなど声を上げていくべき。

佐藤区長：状況を確認し、優先順位があるかもしれないが、必要に応じて本庁に伝えていきます。

【6 あんしん子育てネットワーク事業】

越久田議員：ママのハートバランス事業について、1回あたりの参加人数を教えていただきたい。

竹内こども家庭支援課長：ママのハートバランス事業としての個別相談は、1回に個別相談が2枠あり、令和4年度は21人が参加しています。

越久田議員：男性女性に限定せず、子育てに悩んでいる方への支援をしっかりと取り組んでもらいたい。

【10 健康たうん・みどり推進事業】

鴨志田議員：最近厚労省が発表した全国自治体の平均寿命ランキングで、男女ともに川崎市麻生区が1位、横浜市内では青葉区の男性が全

国2位となっていた。過去のデータでは、緑区の男性が全国17位だったこともあったかと思うが、今回は上位50位にも入っておらず、近隣区である港北区、都筑区はともに男性が30位以内だったため、緑区も頑張ってもらいたい。また、健康的な生活している区民に対するインセンティブについて何かできないか。

柴山福祉保健課長：区内では、区主催だけでなく自治会主催でのウォーキングに積極的に取り組まれています。コロナによる制限もありましたが、歩くことでフレイル予防にもつながるため、その点についても打ち出しながら取組を進めていきたいと思っています。また、野菜の摂取量が分かるベジチェックや骨密度測定など、関心高く取り組んでいただけておりますので、自分自身が健康であることを意識してもらえそうな取組を引き続き実施していければと考えています。

鴨志田議員：健康のために恩田川沿いをランニングしているが、高齢の方々が運動している姿をよく見かける。高齢者に外出を促す事業の実施や、足腰の筋肉トレーニングで健康になっていただけるよう工夫が必要と思うが。

佐藤区長：コロナも5類となり、自治会ははじめ皆さまが主体となった様々なイベントが再開されつつあります。4月に区長になって毎週のようにイベントに参加させてもらっていますが、緑区は地元のつながりを大切にしてきた区だと感じています。コロナの影響で元気な活動ができなかったと思いますが、これからは区長として様々なイベントに参加し、区民の皆さまの元気を応援、サポートしていきたいと思っています。また、若い世代の方、転入してきた方たちがどのように地域の中であつなげていけるのか、その点も区としてサポートが必要だと感じています。明るい笑顔で暮らしてもらえれば、健康寿命増進などいい結果につながっていくと思っています。

鴨志田議員：各地区の運動会も実施されていて、参加人数もコロナ前くらいの印象がある。区民からも協力してもらえ分野だと思うため、区役所と議員も一丸となって緑区民の健康寿命、平均寿命を伸ばしていきたい。

【15 ビオトープ再生による生物環境保全事業】

越久田議員：緑区にもともと存在している固有種と、外来種について、子どもたちを中心に啓発を進めていただき、古来種を大切にしてい

けるような自然豊かな緑区をつくっていければ。

【18 みどり地域まちづくり推進事業】

齊藤議員：山下地域交流センターについて、地元の方と意見交換したところ、運営方法について民間との連携や収益事業を生み出していくことが宿題となっていて悩んでいると聞いている。区の検討状況はどうなっているか。

尾立区政推進課長：昨年度から調査を行っています。市街化調整区域となっているため業種に制限はあるものの、民間事業者や金融機関等にヒアリングを行いました。今年度も追加調査を行っており、地域の方にも情報提供しながら進めているところです。

齊藤議員：民間事業者との連携は、地元にとって馴染みないかもしれない。行政だけで抱え込まず、議員にも情報提供いただきながら、どういう方法がとれるか一緒に考えていきたい。

【23 3R推進事業】

齊藤議員：若い世代のお母さん方と意見交換したところ、不用となった子ども服を着てもらえる人がいれば渡したいということで、自主的な交換会を実施しているとのこと。以前は、緑区役所と環境事業推進委員が主体となって衣類のリユースを行っていた。保管や運営の課題もあるが、コロナ明けでもあるので、そのような取組を復活させてはどうか。また、戸塚区役所で廃食油の回収・活用を行っているとは広報で見た。ぜひ緑区でも実施してもらいたい。

【29 みどりスポーツ振興事業】

齊藤議員：緑スポーツセンターが改修中だが、その間スポーツをやる場所はあるのか。

加納地域振興課長：改修は6月から10か月間行われるため、区民の皆さまにはご不便をおかけしている状況です。代替施設の準備はありませんが、各団体や競技連盟がそれぞれ工夫しながら、地区センターの体育室や学校の体育館を借りて練習や大会を実施していると聞いています。

齊藤議員：スポーツセンターが安全になることは望ましいが、団体等から区に相談があった場合にはフォローをお願いしたい。

鴨志田議員：緑区ランニングフェスタは日産グラウンド（港北区）で実施しており、緑区内でもランニングイベントを開催すべきと思って

	<p>いる。</p> <p>加納地域振興課長：ランニングフェスタは、もともと陸上競技連盟が緑区と青葉区の区民駅伝大会を小机で実施したこともあり、同じ日に合わせて緑区民のためのスポーツイベントということで始まったと聞いています。区内では競技場がないため、公園、教育施設、公道など、実施場所を模索する必要があります。また、区役所単体ではなく、スポーツ推進委員や競技団体に協力いただき、協働しながら盛り上げていく必要もあります。ハードルはありますが、検討していきます。</p> <p>鴨志田議員：年始の山下マラソンなど、元気が創出されるようなイベントを緑区内でぜひ開催していただきたい。</p>
備 考	